

快適な水環境を創造する流域下水道の整備

計画概要

◆計画期間 平成22年度～平成26年度（5年間）

◆計画の目標

流域が一体となって総合的な下水道整備を行い、良好な水環境を創造し、安心して快適に暮らせるまちづくりを実現する。

◆計画の成果目標（定量的指標）

指標①：流域関連公共下水道の下水道処理人口普及率を、55.9%（H21年度末）から64.5%（H26）に増加させる。

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 下水道事業	52,788百万円	管きよの整備及び、下水処理施設の新・増設、改築更新等を実施	100%
B 関連社会資本整備事業	0百万円		%
C 効果促進事業	4百万円	下水道普及啓発活動を実施	100%
合計	52,792百万円		

※事業費は実績額

※進捗率（%）は各事業の計画に対する実施割合 【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 （別紙1）

流域が一体となって総合的な下水道整備を行い、下水道処理人口普及率を、55.9%（H21年度末）から65.4%（H26）に増加させた。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①（下水道処理人口普及率）

最終目標値	64.5%	目標値と実績値に差が出た要因	流域が一体となって総合的な下水道整備を行った結果、事業の進捗を図ることが出来た。
最終実績値	65.4%		

指標②（）

最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
最終実績値			

指標③（）

最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
最終実績値			

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

◆今後の方針

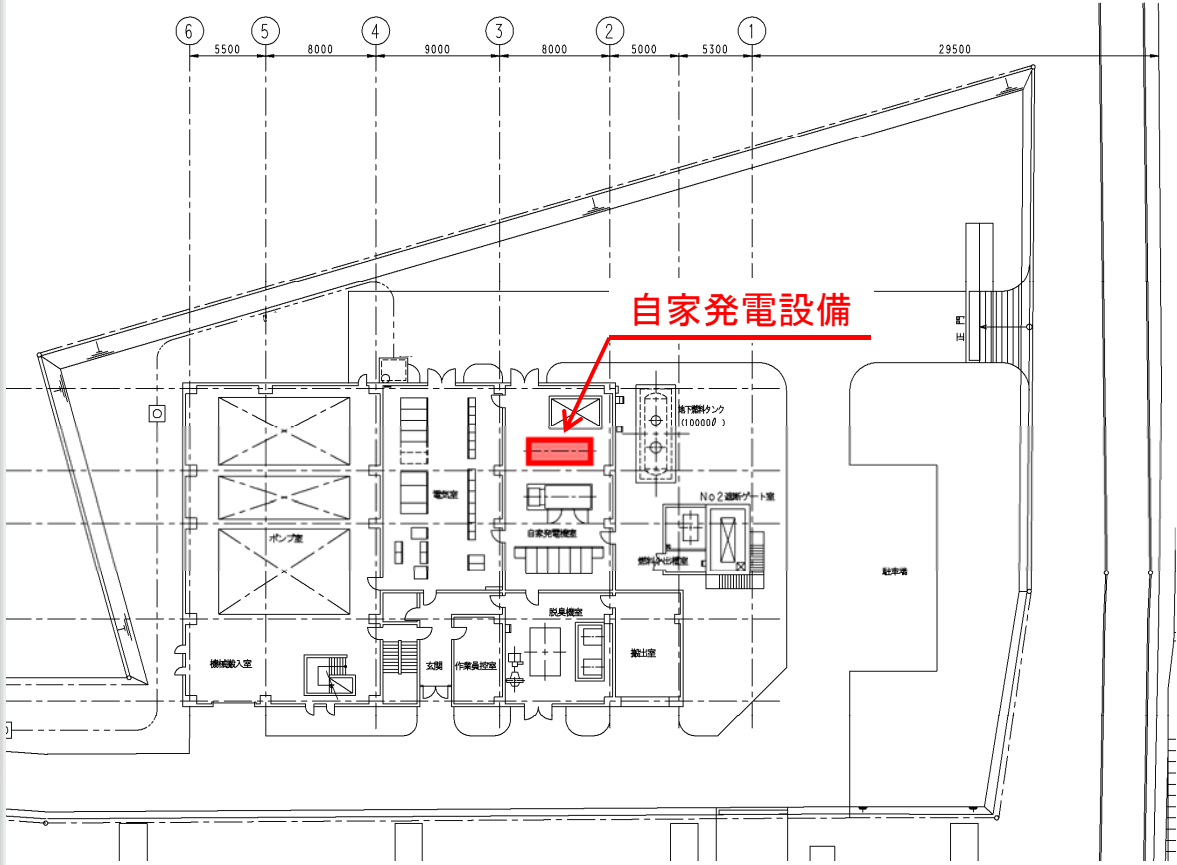
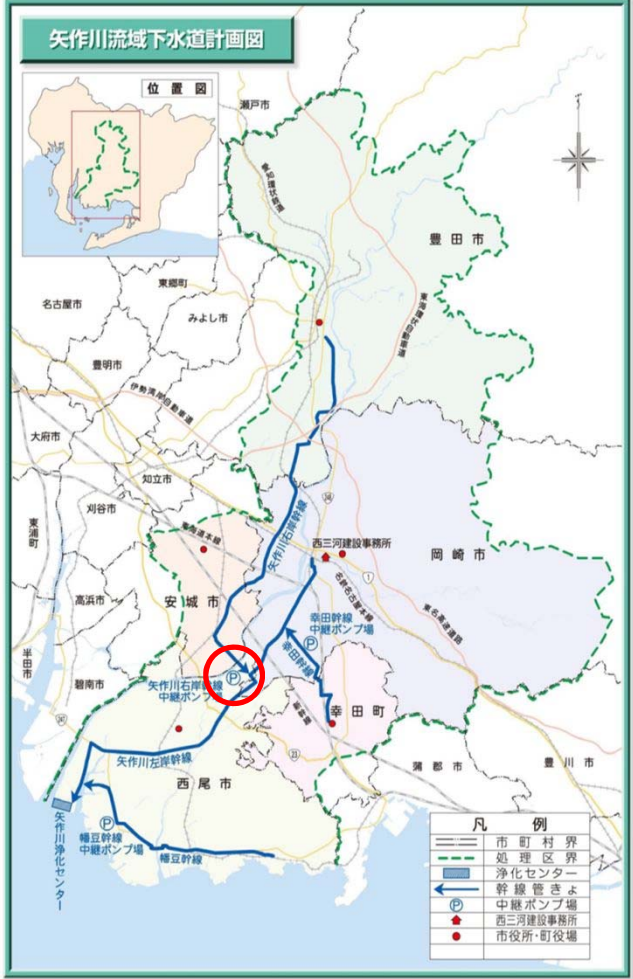
愛知県の下水道処理人口普及率は全国平均（平成26年度末 77.6%）に比べて低いため、引き続き、流域が一体となって総合的な下水道整備を実施し、下水道処理人口普及率を向上させる。


◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体で評価を実施。なお、計画の各要素事業（基幹事業）については愛知県公共事業評価実施要領に基づき評価を実施。
事後評価の実施時期	平成28年3月
公表の方法	愛知県建設部下水道課のWEBページ掲載

参考図面

矢作川右岸幹線中継ポンプ場 一般平面図



 工事箇所

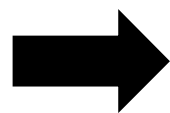
【基幹事業】

- 事業名 矢作川右岸幹線等（未普及）
- 工事概要 非常用自家発電設備の増設工事
- 事業箇所 西尾市西浅井町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 矢作川右岸幹線中継ポンプ場において、停電時にも必要最小限の電力を確保できるようになった。

工事施工前

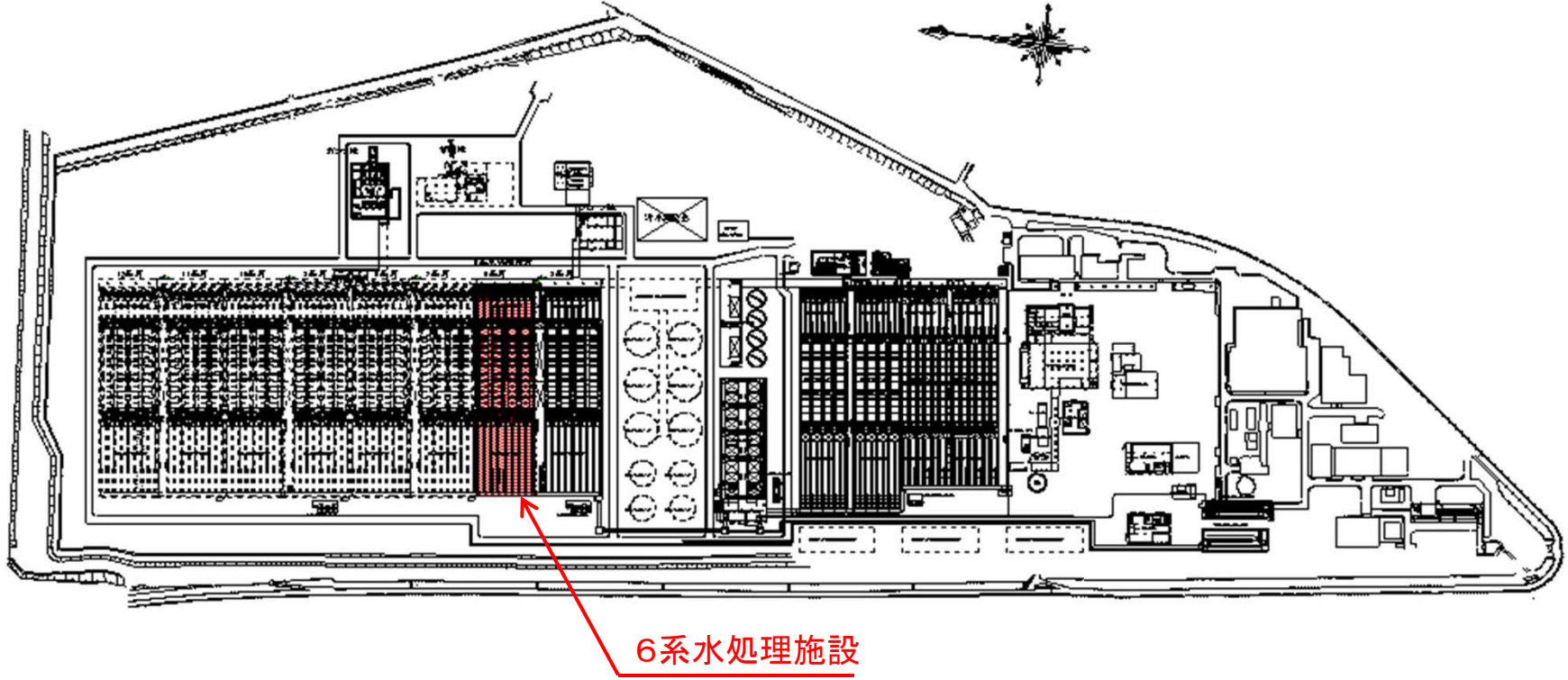


工事施工後



参考図面

境川浄化センター 一般平面図

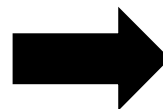


工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 境川浄化センター（水質保全）
- 工事概要 6系水処理施設の築造工事
- 事業箇所 刈谷市浜町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 境川浄化センターの水処理能力が 167,400m³/日最大から 202,200m³/日最大に増え、汚水量の増加に対しても安定した処理ができるようになった。

工事施工前

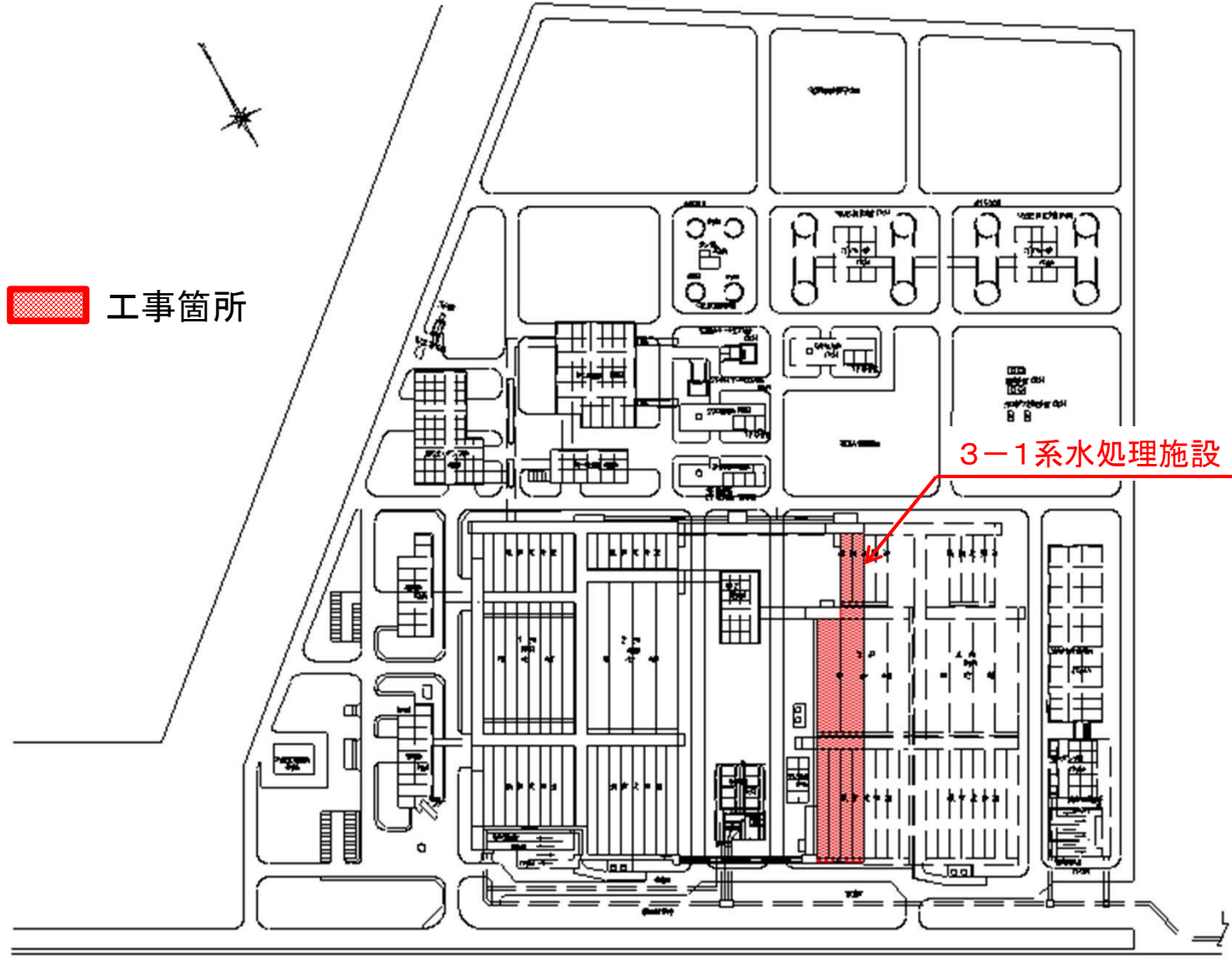


工事施工後



参考図面

衣浦西部浄化センター 一般平面図



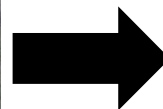
【基幹事業】

- 事業名 衣浦西部浄化センター（水質保全）
- 工事概要 3-1系水処理施設の築造工事（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）
- 事業箇所 半田市川崎町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 衣浦西部浄化センターの水処理能力が65,600m³/日最大から 84,600m³/日最大に増え、汚水量の増加に対しても安定した処理ができるようになった。

工事施工前

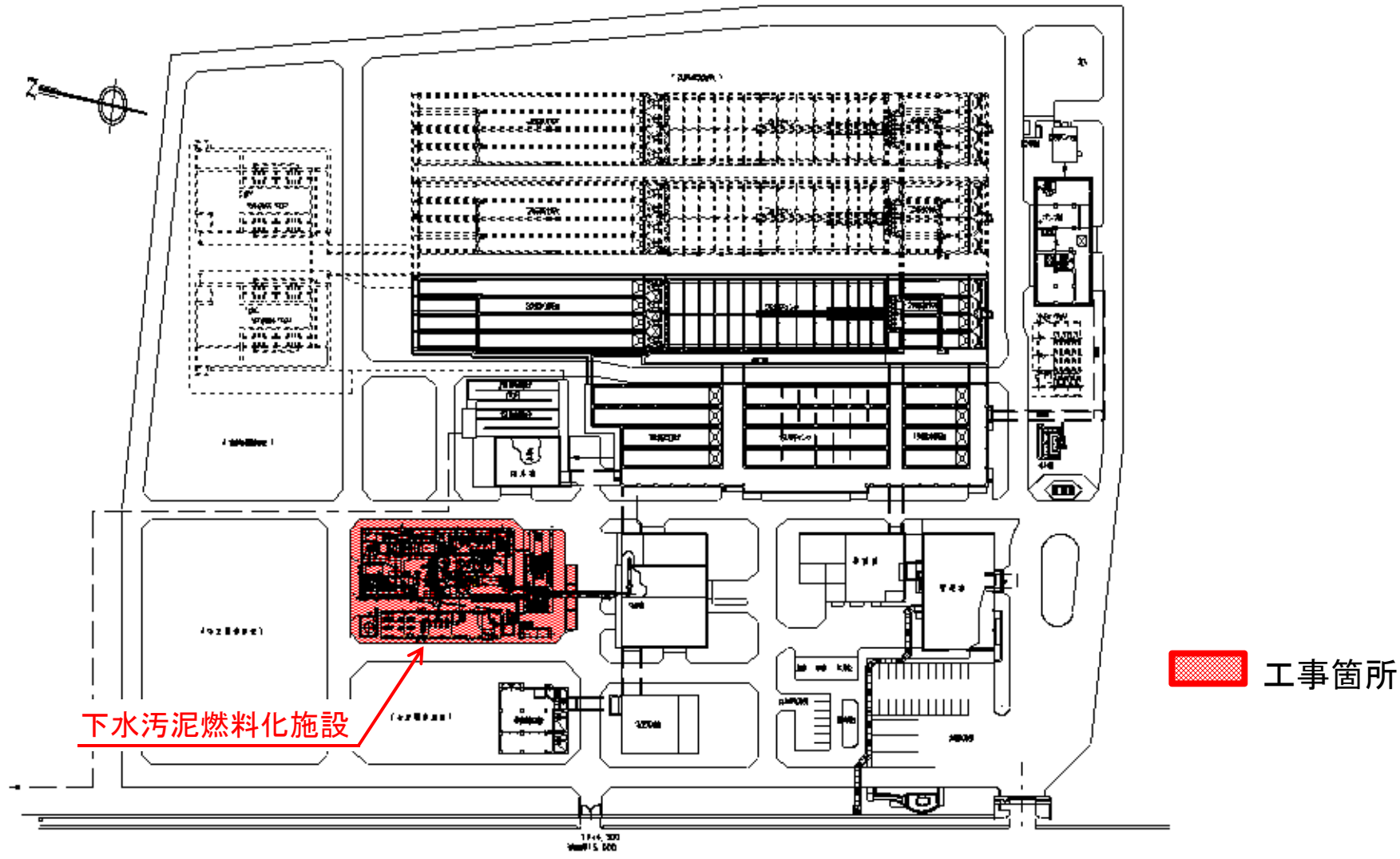


工事施工後



参考図面

衣浦東部浄化センター 一般平面図



下水污泥燃料化施設

工事箇所

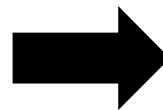
【基幹事業】

- 事業名 衣浦東部浄化センター（資源循環）
- 工事概要 下水汚泥燃料化施設の機械設備工事
- 事業箇所 碧南市港南町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 下水汚泥を燃料化し、石炭代替燃料として火力発電所に供給することで、下水汚泥を長期的に安定して有効利用することが可能になった。また、従来方式に比べて温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止にも貢献した。

工事施工前



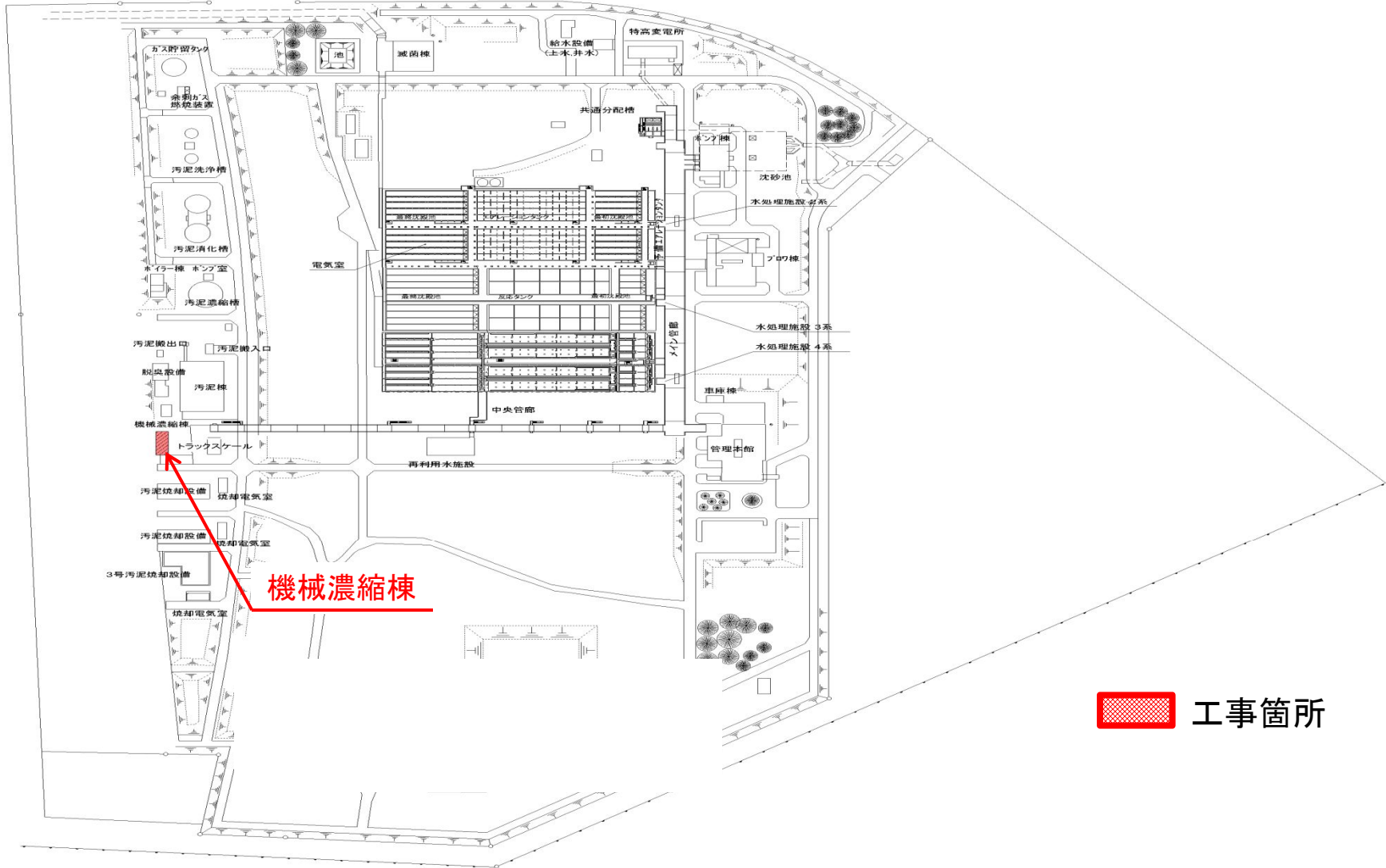
工事施工後




参考図面

豊川浄化センター 一般平面図

S=1/2000

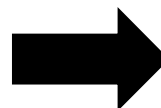


 工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 豊川浄化センター（資源循環）
- 工事概要 機械濃縮設備 一式
- 事業箇所 豊橋市新西浜地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 機械濃縮設備の更新により、これまでより高い濃縮性能と濃縮工程に係る省エネルギー化、低コスト化を実現することができた。

工事施工前

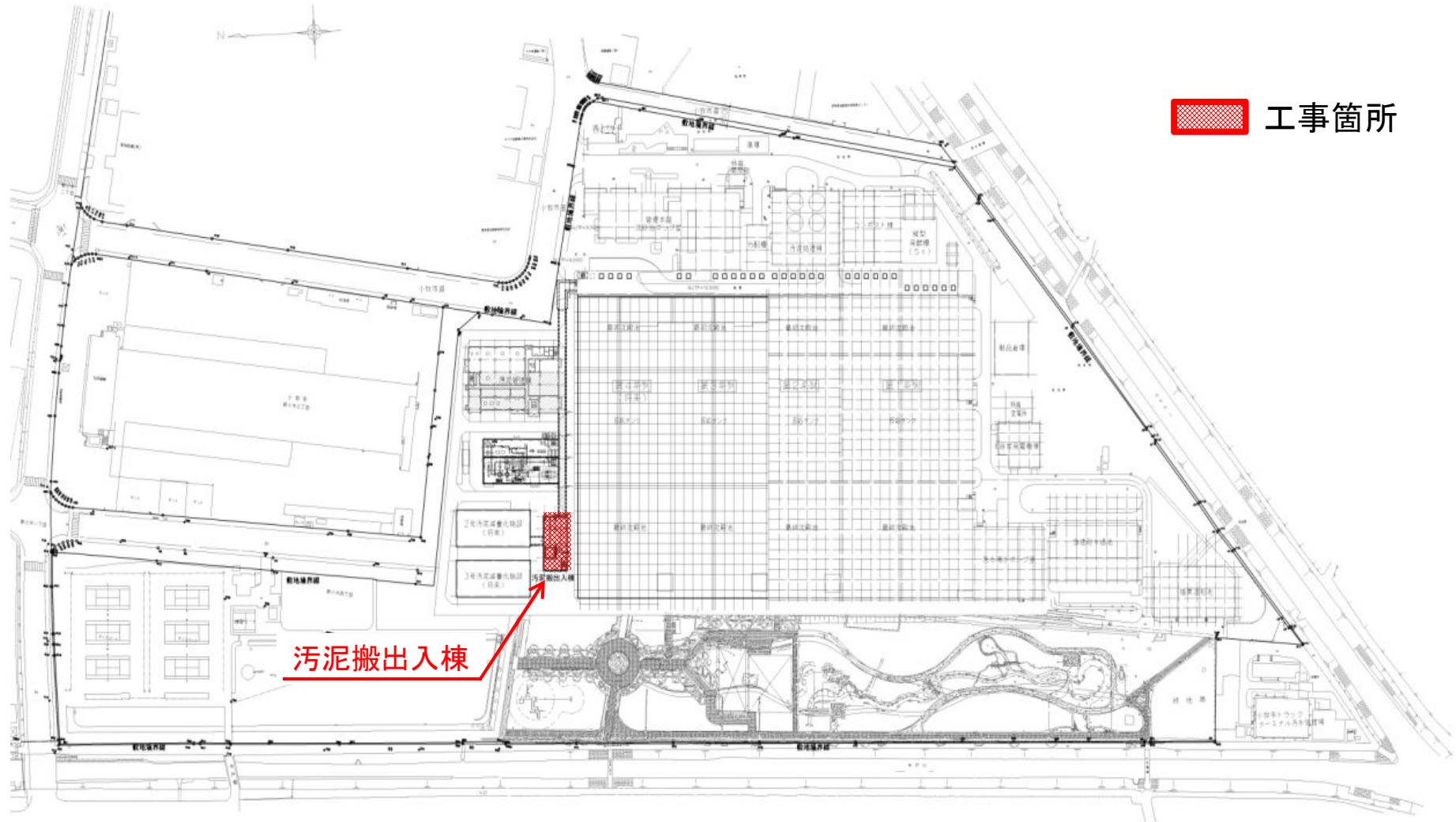


工事施工後



参考図面

五条川左岸浄化センター 一般平面図



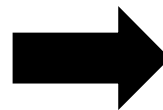
工事箇所

汚泥搬出入棟

【基幹事業】

- 事業名 五条川左岸浄化センター（資源循環）
- 工事概要 汚泥搬出入棟築造工事
- 事業箇所 小牧市新小木地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 汚泥搬出入施設により、他の浄化センターからの下水汚泥を受け入れることができるようになった。

工事施工前

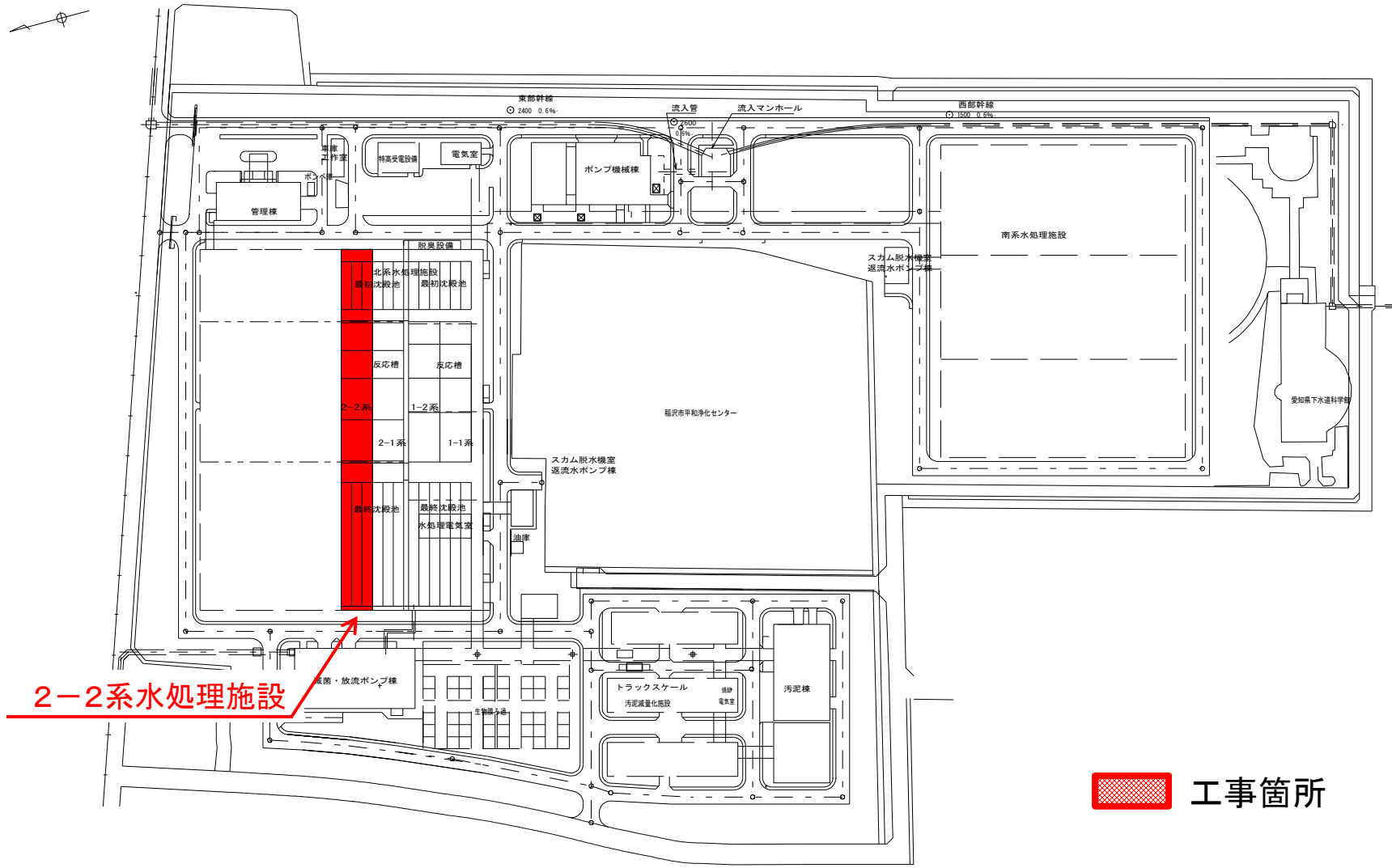


工事施工後



参考図面

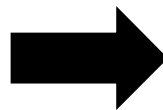
日光川上流浄化センター 一般平面図



【基幹事業】

- 事業名 日光川上流浄化センター（水質保全）
- 工事概要 2-2系水処理施設の築造工事（最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池）
- 事業箇所 稲沢市平和町須ヶ谷地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 日光川上流浄化センターの水処理能力が39,375m³/日最大から 52,500m³/日最大に増え、汚水量の増加に対しても安定した処理ができるようになった。

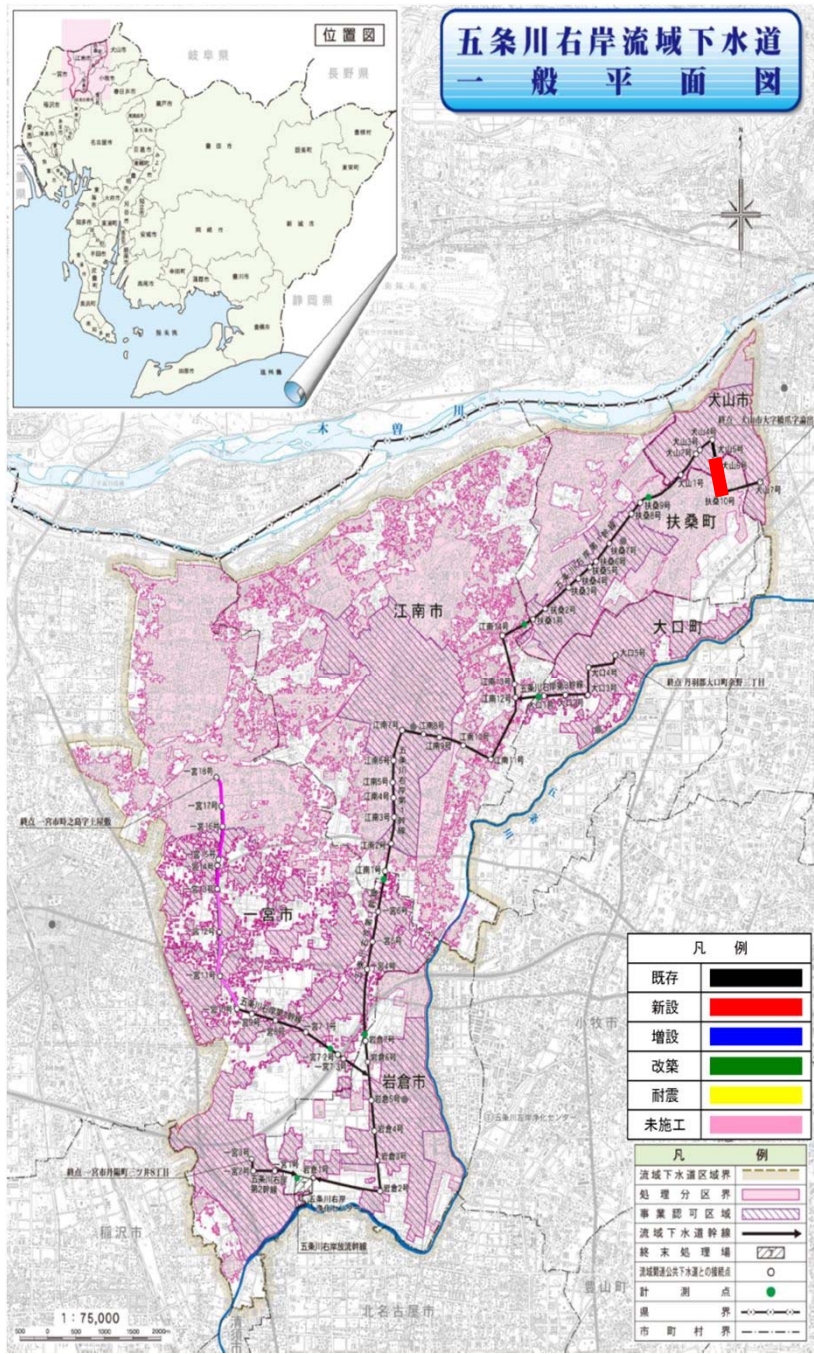
工事施工前



工事施工後



参考図面

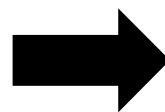


— 工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 五条川右岸第1幹線（未普及）
- 工事概要 管きょ布設工事（推進工法） L=391m 人孔工 N=3箇所
- 事業箇所 丹羽郡扶桑町大字高雄地内始め
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 五条川右岸第1幹線の全てが供用開始となった。

工事施工前



工事施工後



施工中

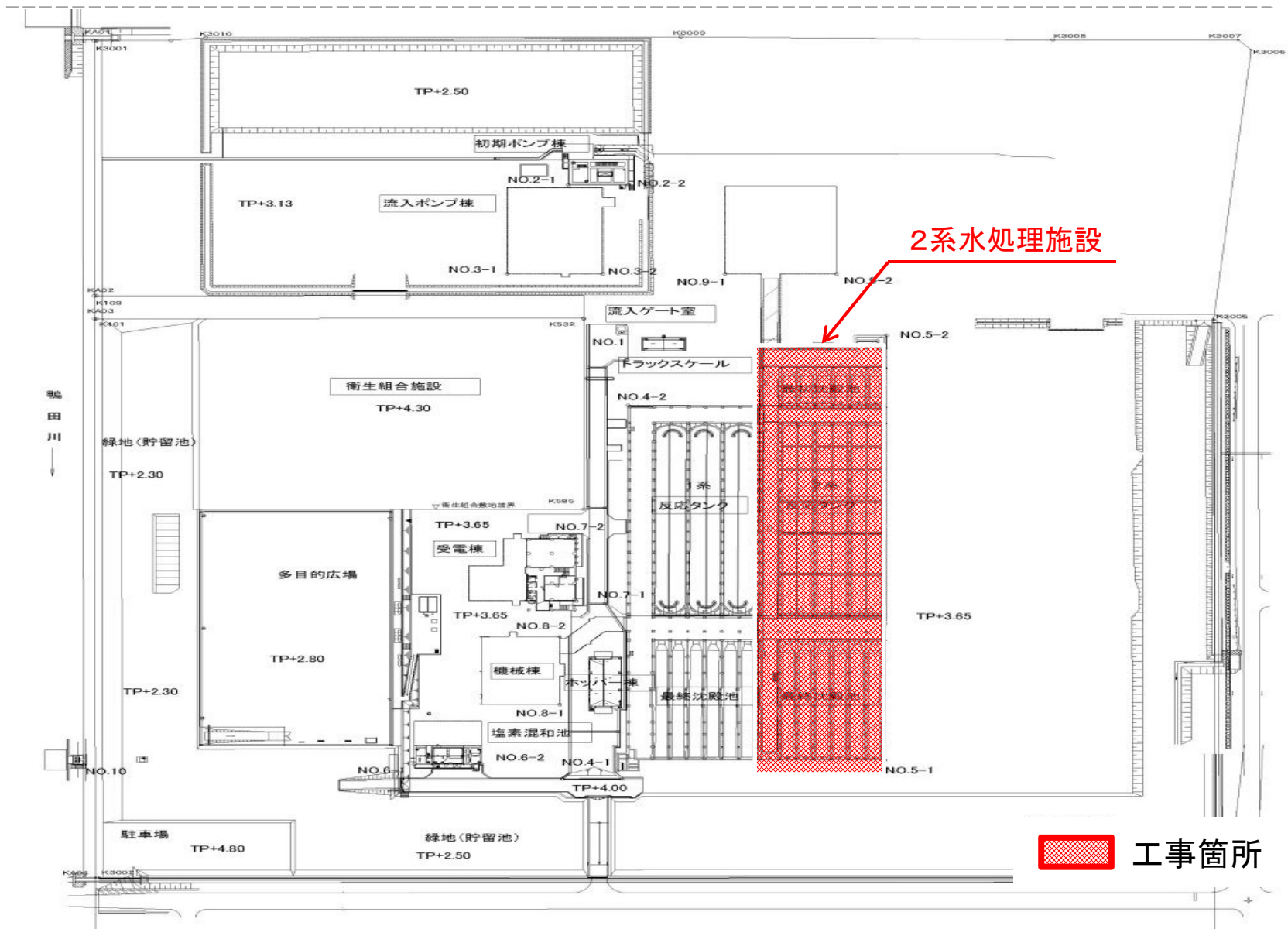


施工後(管きょ内部)



参考図面

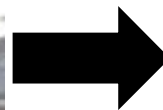
新川東部浄化センター 一般平面図



【基幹事業】

- 事業名 新川東部浄化センター（水質保全）
- 工事概要 2系水処理施設の築造工事
- 事業箇所 北名古屋市九之坪地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 新川東部浄化センターの水処理能力が8,250m³/日最大から13,390m³/日最大に増え、汚水量の増加に対しても、安定した処理ができるようになった。

工事施工前



工事施工後



参考図面

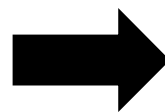


— 工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 日光川下流浄化センター（未普及）
- 工事概要 管きょ布設工事 L=912m 人孔工 N=4箇所
- 事業箇所 津島市新開町及び南新開町地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 日光川下流6号幹線の全てが供用開始となった。

工事施工前



工事施工後



施工中

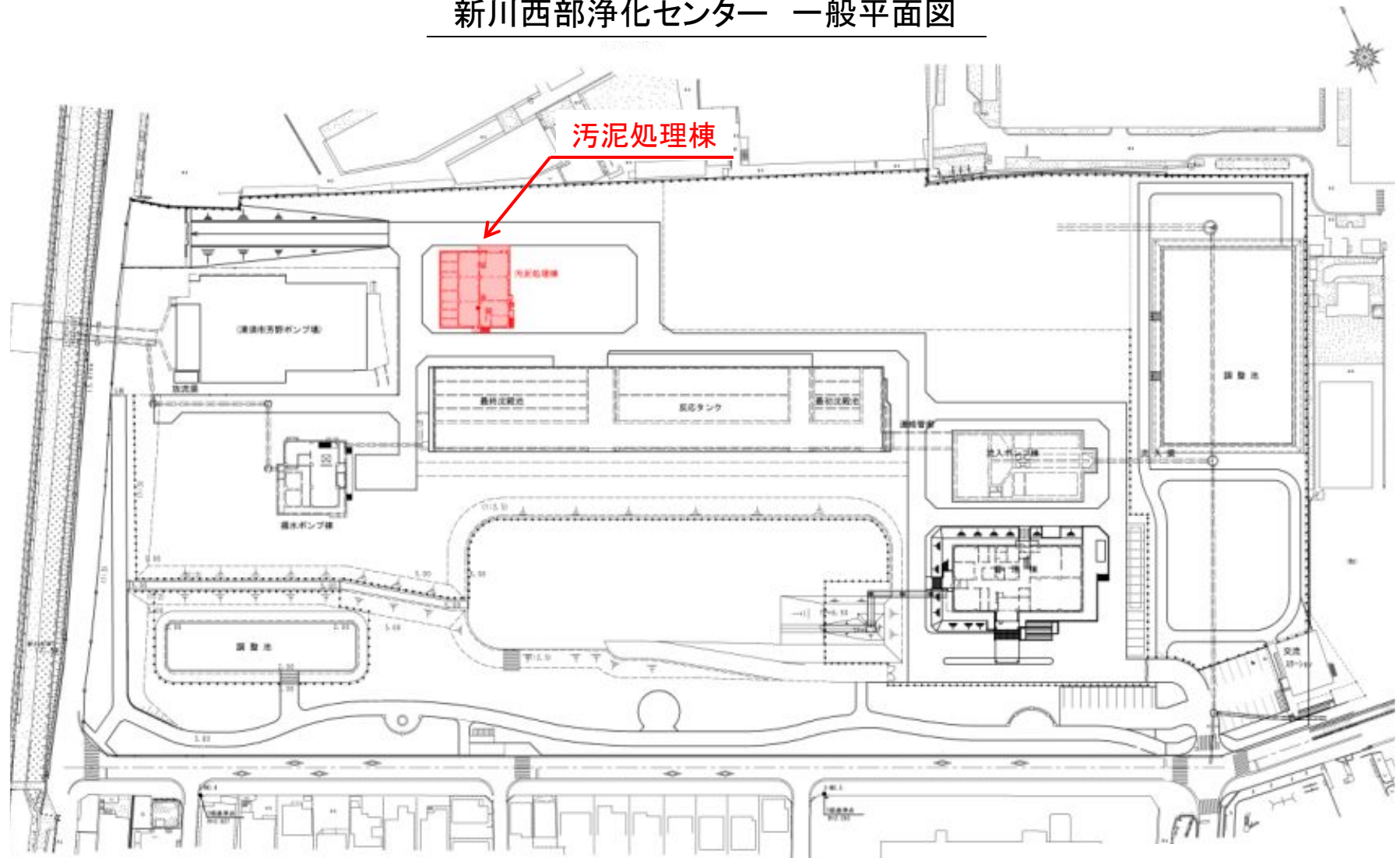


施工後(マンホール内部)



参考図面

新川西部浄化センター 一般平面図

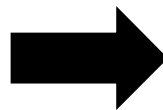


工事箇所

【基幹事業】

- 事業名 新川西部浄化センター（資源循環）
- 工事概要 汚泥処理棟の築造工事
- 事業箇所 清須市西枇杷島町芳野地内
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 浄化センター内で下水汚泥の処理ができるようになった。

工事施工前



工事施工後

